



はとの子だより

No.7 令和5年9月26日(火)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

子どもが困ったらチャンスです ～公開研究協議会まであと3日～



①



②

たくさんの箱に囲まれて、1年生が楽しそうに遊んでいます。様々な箱を組み合わせで「1Cタウン」を作る算数の学習です。

あるグループは、とても高いタワーづくりに挑戦していました。(写真①)自分たちの身長ほどに高く積み上がったタワーに、得意げな表情です。

ところが！一瞬の隙にタワーがガラガラと崩れ落ちてしまいました。わずかに落胆の色を見せた子どもたちですが、気を取り直して再び積み上げ始めました。(写真②)しかし、前回積み上げたほどの高さには届くことなく、

すぐに崩れ落ちてしまいます。さすがにこれは心に堪えたようでした。

一人の子は、それまでと同様に細長い箱を高く積み重ねることにこだわりました。もう一人は、細長さが安定感を欠くことに気付いたのか、立方体に近い箱で安定感を出す方向に切り替えようとしてしました。(写真③)

二人の対策が異なる方向に向かったことで、せっかくの楽しい活動が物別れに終わりそうな、不穏な空気が流れました。そこで、安定感に切り替えようとした子のほうが、材料ボックスに駆け出しました。そして、大きくて平たい菓子折の箱を抱えて駆け戻ってきました。それを床に置くと、その上に崩れ落ちた箱を束ねて重ね始めました。もう一人の子の円筒形の箱も束ねるように持って菓子折の箱に載せています。(写真④)もうタワーは崩れません。

自分たちの試みが行き詰まり、問題が生じたときに、代替案を考えたばかりか、当初の志も捨てずに折衷案まで見いだした二人の姿に、とても感心しました。そのしなやかで粘り強い姿勢と、ただでは転ばない知恵に、自律に向かうはとの子の未来を感じました。

9月29日(金)に本校で開催する公開研究協議会の事前授業の一コマでした。先週、今週と、各学級で事前授業が真っ盛りです。公開当日も、様々な問題に行き当たりながらも、「困った」を「チャンス」に替える子どもたちを見ることができそうです。

当日の運営をお手伝いしてくださる保護者の皆様に、くれぐれもお礼申し上げます。いつにも増して頑張る子どもたちの姿に、熱いまなざしで心からの応援をお願いいたします。



③



④

未来の先生たちとともに育つ ～教育実習主免Ⅰ期～



8月30日から9月12日の約2週間、教育文化学部の学部生が本校で教育実習に参加しました。全国的に教員のなり手が不足している昨今にあって、それでも教職を志そうとする若いパワーが、学校を元気にしてくれました。

普段よりも多くの目で子どもたちの様子を見取ったことから、子どもたちの表情が何割増しかで明るい2週間でした。

5年生のはばたき学習では、配属された実習生全員が、教職を選んだ（または迷っている）理由

やアルバイトでの経験などを通して、「働かってどんなこと？」という子どもたちの疑問に答えてくれていました。実習生一人一人の話の内容に、彼らなりの人生観や職業観が表れていて、身近な大人の考えを聞いた5年生の目の輝きが印象に残りました。

実習の最終日には、各学級で子どもたちが自主的にお別れ会を企画・運営されていました。未来の先生たちが、はとの子との出会いを通して、教職への憧れと希望、自覚を新たにしてくれたのではないかと感じました。



合唱部の皆さんおめでとうございます！



合唱部の皆さんが、宮城県名取市で開催されたNHK全国学校音楽コンクール東北大会に出場し、昨年に引き続き銅賞をいただきました。広い会場いっぱい響き渡る歌声に、会場から大きな拍手をいただきました。おめでとうございます。

久しぶりのPTA球技大会

コロナ禍で長らく途絶えていたPTA球技大会が、数年ぶりで開催されました。暑さでムンムンするアリーナに、お母さんたちの大きな声が響き渡り、大盛況のうちに終わることができました。大きな怪我もなく、楽しく汗を流しながら競技に参加してくれたご家庭の皆様、運営に当たられた役員の皆様に御礼申し上げます。

